

Event

オープンキャンパス 2011  
進路を絞りこむ絶好のチャンス!!

開催日程

犬山キャンパス

●経済学部 ●経営学部 ●法学部 ●人間生活科学部  
●短期大学部 保育科

4/29 (fri) ..... 10:00~14:30  
7/17 (sun) ..... 10:00~14:30  
8/21 (sun) ..... 10:00~14:30

名駅サテライトキャンパス

●短期大学部 キャリアデザイン学科

5/8 (sun) ..... 13:00~16:00  
7/24 (sun) ..... 13:00~16:00  
8/27 (sat) ..... 13:00~16:00  
8/28 (sun) ..... 13:00~16:00  
10/30 (sun) .. キャリア祭(ミニOC)

私たちがナビゲート!



Open Campus 2011

Event

平成22年度  
卒業証書・学位記授与式  
のご案内

日時：平成23年3月18日(金)11時開式  
会場：市郡記念体育館(犬山キャンパス内)  
対象：大学院、大学、短期大学部  
式典に関するお問い合わせは、教務部まで  
TEL：0568-67-9305

※田原神社前駅よりスクールバスを運行しています。※車でお越しの場合は、体育館駐車場をご利用いただけますが、駐車スペースには限りがございますので、なるべく公共交通機関でお越しください。

Event

平成23年度  
入学式のご案内

日時：平成23年4月1日(金)11時開式  
※開始30分前までに会場にお入りください。  
会場：市郡記念体育館(犬山キャンパス内)  
対象：大学院、大学、短期大学部  
式典に関するお問い合わせは、学生部まで  
TEL：0568-67-7244

※田原神社前駅よりスクールバスを運行しています。※車でお越しの場合は、体育館駐車場をご利用いただけますが、駐車スペースには限りがございますので、なるべく公共交通機関でお越しください。



第3回の講演会で熱く語る浜内千波氏

Meikei  
Info

大学からのお知らせ

Seminar

名古屋経済大学・短期大学部  
毎回大盛況の連続講演会  
「食と健康・いきいき講演会」



政府が掲げる「食育推進基本計画」に基づき、全国各地では現在、食を通じて「心身の健康の増進と豊かな人間形成」を推進する取り組みが盛んに行われています。そのため、「食」の大切さや「正しい食生活」などが以前にも増して関心を高めている昨今ですが、本学でも2010年11月より食に関するエキスパートを集め、「食と健康・いきいき講演会」と題したテーマで食育やダイエット、長寿のための栄養などを分かりやすく解説しています。

第1回目は、服部栄養専門学校理事長・校長

で医学博士の服部幸應氏を招き、「食育」についての講演を開催。卓袱台が消え親子で食事を囲む時間と会話が減少したことを一因に、未成熟な子ども・学生が増加した現状を日本の未来への危機感として、分かりやすくお話いただきました。「食卓で親が子に、生きていくための基本をきちんと教え、日本の未来を立て直そう」という力強いメッセージを残されました。服部氏以外にも、料理研究家の浜内千波氏など著名な方々をお招きし、いずれも大盛況に終わっています。

過去の講演DATA

- 第1回 11月22日(月)
  - 「まちがいだらけのダイエット」管理栄養学科教授 医学博士 鈴木 公
  - 「食育のすすめ 大切なものを失った日本人」服部栄養専門学校 理事長・校長 服部幸應氏
- 第2回 12月19日(日)
  - 「アルコールと健康」管理栄養学科教授 医学博士 斉藤征夫
  - 「長寿社会の栄養」鹿児島大学名誉教授・元学長、名古屋学芸大学学長 井形昭弘氏
- 第3回 1月29日(土)
  - 「メタボ予防のための栄養と運動」管理栄養学科教授 医学博士 鈴木 公
  - 「浜内流ダイエット「美味しいものをきちんと食べて、自然にスリムに!」料理研究家 浜内千波氏

第4回 講演会2月20日(日)開催 (参加無料)

18:00~18:20 「ごまと健康」管理栄養学科 教授 博士(生活科学) 長島万弓  
18:30~19:30 「規則正しい食生活と健康」



中村 丁次氏  
神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部学部長、日本臨床栄養学会理事  
日本栄養改善学会理事、(社)日本栄養士会会長

会場:名古屋経済大学 名駅サテライトキャンパス 10階ホール  
名古屋市中村区名駅4-25-13 TEL.052-569-2882

【お問い合わせ】企画広報室 TEL.0568-67-0624  
E-mail kikakukoho@kan.nagoya-ku.ac.jp  
URL http://www.nagoya-ku.ac.jp/

Meikei

[名経大通信]



名古屋経済大学  
www.nagoya-ku.ac.jp

新年を迎えて  
学ぶ意欲や目的意識を持たせ、  
質の高い教育を提供。  
今年はさらに、新しい時代に  
求められる「人材養成」に重点を。

名古屋経済大学 学長 末岡 照章

特集 | Special

社会で活躍する卒業生。

- 本田 秀一さん(名古屋トヨペット株式会社)
- 綿貫 虹子さん(西洋フード・コンパスグループ株式会社)
- 青山 文香さん(トータルメディカルコンサルタント株式会社)

[CloseUP Student]  
税務会計研究学会  
自由論題報告を終えて  
大城 隼人さん

[Campus News & Topics]  
学生の優秀卒論を表彰する  
制度がスタート!!

[Relay Essay]  
コショウについての小考  
宮沢 秀次教授

アンケートにご協力  
いただいた方から  
抽選で20名様に  
1,000円分の  
図書カードを  
プレゼント!

Meikei  
QR de アンケート  
「名経大通信 Vol.35」について、  
ぜひご感想をお聞かせください。

こちら  
http://www.smaster.jp/  
Sheet.aspx?SheetID=41817  
※回答締切/2011年3月末日

新たな年を迎え、名古屋経済大学に対する平素のご厚情とご支援に感謝申し上げます。

昨年は、政治・経済が、また社会があらゆる面で混乱と混迷の一年でございました。18才人口は120万人で減少を辿っており、私立大学は、ますます拍車をかけられた形で競争と評価にさらされる状況の中にあります。

本学では昨年来これらの問題に対して現実を真摯に受け止め、その対応について真剣に議論し、本学の教育・研究の質を高めていくことは勿論のこと、同時に学生諸君の満足度を高める取り組みと明確な方向性を示し、建学の精神に基づく個性豊かな大学を目指して、本学の持続的発展を期し責任ある学校運営の推進に心がけていかなければならないと決意を新たにいたしました。社会が複雑かつ急激な変化の中、大学には幅広い視野から物事を捉える力や的確な判断を下すことのできる人材の育成が一層期待され、大学教育は教養教育と専門基礎教育を基本として、新たに教養教育のあり方を見直し、再構築することが求められております。

本学では、社会の要請に対応でき得る人間としての在り方や、生き方など現実を正しく理解する力の涵養など、学生諸君に対し、学ぶ意欲や目的意識を持たせ質の高い教育を提供し、新しい時代に求められる人材養成に重点をおき取り組んで参ります。特に2011年度からは、従来の法学部法学科をビジネス法学科に改編する他、全学部専攻制、コース制、学科の内容をより明確に位置づけ、将来の目標に対応したカリキュラムの編成を行うこととしております。

また教育研究を通して地域社会との密着性を強化して、身近な大学としての機能を発揮していきたいとも考えております。

私学は、学生、教職員、父母、そして卒業生によって構成される一種の大きなファミリーであります。この組織こそ私学にとっては最も大きなエネルギー源となるものであります。2011年は、名古屋経済大学にとって希望の年でもあり、同時に試練の年でもあります。本学のすべての構成員がそれぞれの役割を理解し、社会的価値観やニーズの変化に即応しながら、力を合わせて魅力的な大学を構築することに喜びを感じる年となることを信じます。

最後に卒業生諸氏を含め、ファミリーとして大きな役割を担っている構成員の皆さんのより一層のご協力と、ご支援をお願いすると共に、ご多幸をお祈り申し上げます。

学ぶ意欲や目的意識を持たせ、  
質の高い教育を提供。  
今年さらさら、新しい時代に  
求められる「人材養成」に重点を。



名古屋経済大学 学長  
末岡 熙章

## Topics

### 末岡学長が愛知大学野球連盟の会長に選出!!

前会長の愛知学院大学学院長・小出忠孝氏から受け継ぎ、更なる「愛知大学野球リーグ」の発展を誓いました。



## 税務会計研究学会 自由論題報告を終えて

# 税法上の黒船問題について初めて言及 熱のこもった活発な議論が交わされました

大城 隼人  
名古屋経済大学大学院  
法学研究科博士後期課程  
(指導教授：本庄貴)

2010年10月2日(土)～3日(日)、明治大学駿河台キャンパスにおいて税務会計研究学会第22回大会が開催されました。大会は、参加者300人を超える盛大なものでした。

私はこの大会の自由論題報告において、「PE所得課税の取扱いと問題点—OECD「恒久的施設への利得の帰属」の議論を踏まえて—」というテーマで報告を行いました(PE=恒久的施設)。

本報告においては、OECD(経済協力開発機構)で取り上げられている、機能的分離企業アプローチを国内に導入した場合の取り扱いと、その問題点について検証しました。通常、本支店間の内部取引は相殺消去されますが、機能的分離企業アプローチを導入するとこれらの内部取引を実現させることになります。OECDは、恒久的施設への所得の帰属を長年にわたり議論・検討して結論を出したわけですが、それにより諸外国の税制がどのように改正されるかについて、今後、注視する必要があります。

国際的な共通課税が原則とされようとしている現在、OECD加盟国同士が租税条約の締結(改訂)を行えば、条約締結国同士の企業がいっせいに機能的分離企業アプローチを採用していく可能性があります。このような潮流が、いずれは日本にも影響を及ぼすことになります。日本は必ずしも機能的分離企業アプローチに関して明確な態度を示してはいませんが、仮に、機能的分離企業アプローチを有した租税条約の締結(改訂)を行えば、日本の国内法が何らかの影響を受けることは避けられないと考えられます。租税条約と国内法との関係に影響が生じ、締結した租税条約上、定義されていない用語の解釈を行う際には、通常、租税条約を適用する国内法の税法に従うこととなっています。つまり、国内法において明確な定めがないかぎり、諸問題が生じるおそれがあります。そこで私は冒頭で、国内法において定めがない場合、諸問題の解決をすべて企業会計に求めるのか否かという点について、さらには法人税法22条にも影響を

及ぼすことになるため、これは税務会計研究の対象になる旨を指摘しました。

また、その中でも特に重要度の高い、「経済的帰属」、「経済的所有権」を中心に言及し、日本も先進国をメンバーとするOECD加盟国であることを再認識しなければならないと結論を述べました。今回の私の報告は税法上のいわば「黒船の到来」について述べたものです。税務会計研究学会においてこのテーマで議論するのは初めての試みでした。わずかな時間での報告でしたが、活発な議論を交わすことができました。

2011年度の税務会計研究学会第23回大会は、大江晋也教授を大会準備委員長とし、本学で開催されます。会員・準会員とも本学関係者の割合が高く、優秀な人材を輩出する大学として評価されています。第23回大会が外部の評価に見合う盛大なものになることを期待しています。私自身、若手研究者の一員として、報告の機会を得られるよう、今後も研究に精進していきたいと思っております。

社会で活躍する卒業生。

本学で学び、社会で働く先輩たちに「どのように進路を決めたのか」「大学での経験がどう活かされたか」などをインタビューしました。

VOICE 01

**本田 秀一**さん  
1988年 経済学部 経営学科卒  
名古屋トヨペット株式会社  
レクサス豊田土橋 マネージャー職



“飛び込み営業”を行った大学祭での経験  
「お客様重視」の姿勢を貫く原点に

在学中は丸山祐一先生に師事し、フィールドワークを取り入れた授業で**経済学、経営学を理論と実地の両面**からご指導いただきました。大変、感謝しております。また、大学祭の実行委員としてパンフレットの広告を集めるべく、近隣の企業や商店などへの**飛び込み営業を行った経験**を通じ、厳しくも温かい地域社会を実感したことも思い出されます。

もともと車が好きで人と接する仕事を希望していた私は、1988年の卒業後、自動車販売会社である名古屋トヨペット株式会社に入社いたしました。先輩方に助けられ、また自分なりに努力をした結果、幸いにも入社一年目で年間優秀営業スタッフの表彰を受けることができたことは、その後の大きな励みになりました。以来、幾つかの拠点で新車販売の営業に邁進して参りまして、

現在は、レクサス豊田土橋のマネージャー職を拝命し、販売管理や後進の指導を主な業務としております。

おかげさまでレクサスは、国際的な専門機関が行う顧客満足度調査のブランド別ランキングで、日本国内自動車セールス・サービスともに4年連続でNo.1となりました。このことからもお分かりのように、レクサスでは車の性能・品質だけでなくサービスも含めて、お客さま重視の姿勢を貫き通し実践しています。

私はこれからもブランドを構成する一員として、常にお客さまの視点に立った、高い品質と充実のサービスをご提供できるよう、サービス担当者の育成や営業体制の改善・強化に注力いたします。



迷うよりも、まずは動き出すことが大事です！

管理栄養士国家試験現役合格！  
「心配り」を忘れずに  
元気の出る献立づくりで健康管理

中学の時から夢は「栄養士」になること。大学も管理栄養学科のある名経大に…。のんびりとした大学の雰囲気自分があっていいと思ったのですが、実際の大学生活は想像と違い、講義・レポート作成・実験や実習に追われる忙しい毎日。しかし、**料理コンテストの優勝**や地域イベントで**お弁当の企画販売**にもチャレンジでき、充実した学生生活を送ることができました。

大変だったのは「管理栄養士」の受験勉強。卒業課題研究と就職活動が重なり過酷でしたが、学内で開かれていた**国家試験対策講座を積極的に受講**し、ストレートで合格することができました。実践的な講義内容がとても役立ち、さらに、熱心に教えてくださる先生方のおかげで、学ぶことの楽しさを知ることができ、とても感謝しています。

現在は企業内の食堂運営や医療施設給食といったコントラクトフードサービスを展開する会社に在籍し、大手企業の社員食堂でメニュー管理業務を行っています。「美味しいのはもちろん、盛り付けにも心配りを忘れないで！」というゼミの先生の教えが、「見た目にも美味しく、元気の出る」献立作りに役立っています。毎日、社員の方の健康管理に携わっているのですから責任は重大。管理栄養士の資格を活かしたお客様や取引先との信頼関係づくりと、効率的な給食経営を目指し、毎日が勉強の日々です。



熱心な先生たちが多いので疑問点は積極的に質問を！

VOICE 02

**綿貫 虹子**さん  
2010年 人間生活科学部 管理栄養学科卒  
西洋フード・コンパスグループ株式会社  
メニュー管理業務職



自分の“道”が見つかった授業  
患者さんの「ありがとう」が今幸せ

高校生の頃は将来どんな職に就きたいのか、まだ見つけれられていませんでした。そういう私にピッタリだったのが、学びながら自分にあった道を探せるキャリアデザイン学科でした。ちょっと大げさな言い方ですが、**適性のひとつが「医療事務」だと気づいた**とき、おぼろげだった将来が急に現実味を帯びて見え始めました。

現在は、トータルメディカルコンサルタント株式会社に在籍し、業務委託元の春日井市民病院で医療事務職として主に会計業務を行っています。優しく頼りになる先輩や同僚に恵まれ、充実した毎日を送っています。

大切だと思うことは**礼儀作法やマナー**接遇です。卒業から間がなくても一社会人として日々多くの方と接していますので、改めてその大切さと難しさを感じています。

そして、最もやりがいを感じる瞬間は、患者さんから「ありがとう」と笑顔で声をかけられたとき。とても幸せな気持ちになります。私も常に笑顔を保ち、みなさまに優しく接することができるように頑張りたいと思います。



常にマナーを意識した行動が社会で役に立ちます！

VOICE 03

**青山 文香**さん  
2010年 短期大学部 キャリアデザイン学科卒  
トータルメディカルコンサルタント株式会社  
医療事務職





園児と学生による

## 「わくわくいちむらっ子展」開催

来場者は約600名!

2010年12月5日(日)、本学犬山キャンパスにて、附属市邨幼稚園と短大保育科が第1回「わくわくいちむらっ子展」を開催しました。附属幼稚園では園児たちの作品が展示され、キャンパス内の3号館では保育科の学生全員がゼミ毎に準備したゲーム、シアター、製作あそびのワークショップを展開しました。当日は風もなく、おだやかな快晴に恵まれ、園児とその保護者の方々は、展示された園児たちの作品を見て回るとともに、3号館のさまざまなワークショップを楽しんでいました。保育科の2年生にとっては、これまでの学びの集大成であり、授業や実習で出会った子どもの姿を思い浮かべながらワークショップを企画することを通して、「保育者としての実践力」を身につけられました。また、1年生にとっては子どもや保護者とのかわりを実体験できる機会となりました。また幼稚園での展示はとても工夫されており、子どもたちの製作の様子や、生き生きとした活動が伝わるような作品ばかりでした。

(短期大学部 保育科 准教授 多川 則子)



1 ゲームコーナー「ひよこを育てよう」で記念撮影をする来場者 2 600人の方が来場され賑わいました 3 スタンプラリーのゴールでは、子どもたちにお菓子をプレゼント 4 ペットボトルを使った造形ワークショップ「わくわく水族館」 5 パネルシアター「がぶりもぐもぐ」

### CLOSE UP

名古屋経済大学附属市邨幼稚園

## 幼稚園作品展

子どもの感性にびっくり!!!

幼稚園作品展は、「いのち」をテーマに3・4・5歳児の発達を踏まえて描画、版画、工作などの造形活動で表現しました。一人ひとりの個性あふれる作品に家族の方も子どもの成長を感じて喜んでいらっしゃる様子が見られました。

(主任 山田 京子)

### 年長担任よりひとこと

年長組は、等身大の自分を描く事に挑戦しました。大きな紙に寝ころび、好きな格好をして、友達と鉛筆でなぞり合いました。その紙を切ってみると「僕ってこんなに大きいんだね」と感動する子どもたち。作品を通して、「自分のいのち」に少しでも触れる事ができたのではないかと思います。

(久保 剛)



Ichimura Youchien

## 「わくわくいちむらっ子展」に参加された保護者の声

- ★大学附属幼稚園の特色を生かした催し物で、市邨らしさが出たように思います。
- ★学生さんたちの発表はどれも一生懸命さが伝わってきました。
- ★「命」という難しいテーマを子どもにわかりやすく伝えていました。
- ★世代間交流がありがたい。



石畳の上でポーズをとるホアン・レーマイさん(前列右から3人目)たち



中津川で唯一の蔵元「はざま酒造 酒遊館」で試飲を楽しむ参加者たち

## 01 留学生の 日帰り研修ツアー ～馬籠宿を訪ねて～

名経大後援会支援事業



### 留学生20名が木曾路の“歴史と文化”に触れました

2010年11月23日(祝)に、大学主催による留学生対象の日帰り研修ツアーが行われました。場所は、岐阜県中津川に位置する木曾路「馬籠」です。日帰りでしたが、日本情緒に満ちた秋の紅葉風景がみられ、また移りゆく初冬の寒さの雰囲気も感じられました。そして、昔の日本の酒屋の様子などについてもお話をうかがいられました。より日本のことが理解できるようにになりました。留学生の私たちは入学してから毎日、学校とバイトとの繰り返しで、忙しくて集まる機会がなかなかありませんでした。この研修ツアーのおかげで、みんなが色々なことを話し合えて楽しい一日を過ごすことができました。充実した内容で、とても良かったと思います。また機会があったら、ぜひ参加させていただきたいです。

(経済学部 現代経済学科 2年 ホアン・レーマイ)



本学経営学部・柴田教授と情報センター・岩田部長に取材を行った湯上くん



## 02 中日新聞主催 「学生之新聞」の 企画編集に参加!

### 大学の枠を越えた学生の活動に参加、みずから成長を実感

2011年1月11日の中日新聞に掲載された「学生之新聞」480号のテーマは「10年後の人のつながり」。この中で、「仮想世界における人と人とのつながり」について記事をまとめた湯上くんがゲストとして活動にめざした。彼はこの活動に参加して、まもなく一年になります。

「学生之新聞」は東海地区の様々な大学から集まった学生たちが主体となって企画・運営しています。彼

が参加するきっかけになったのは、「学生之新聞」で資格について取り上げたとき。ちょうど宅建の資格を取得したばかりだった彼に、経済学部の宮川教授からゲストとして活動に参加してみたらと声をかけられたことでした。その場での熱を帯びた雰囲気にも圧倒された彼は、自分もここで頑張りたいと思ったそうです。活動の基本は月2回、金・土に行われる会議。最初は休みの日にまで出

かけることに抵抗があったのですが、今ではこの活動のない日々が考えられないほど。集まってくるのはアグレッシブでアクの強い、個性的なメンバーばかり。もともと引込み思案だった彼も、その面々の中で揉まれていくうちに、積極的に発言し、企画を出し、司会までも引き受けるようになったそうです。しかし実際にやってみると思ったようにうまくいきません。困難もたくさんあるよう

ですが、楽しくてしかたがないとのこと。この活動を通して彼の人間関係も劇的に変化しました。かつてこの活動に参加していたOBの方たちとの集まりでは、日弁連の関係者の方や法務局に勤めている方も知り合うことができました。彼にとってはこの「学外の活動」に参加することが、大学生活をより充実したものにするための糧になっているようです。

「コシヨウ」についての小考

いつ頃であったらうか、ある時、女子学生が自分のことを「A子は…」と固有名詞で言うことに気づき、驚いた。今でも時々、きれいに化粧した女子学生が同じように言うのを聞くと苦笑する。「私は」「オレは」「ぼくは」などの代名詞を使うことが当たり前と知っているからである。

でも、よくよく考えてみると、子どもは「B(自分の名前)ちゃん」と言うし、聞いても違和感はない。子どものこのような言い方は、大人にとっては子どもが日ごろ呼ばれている言葉が何を意味しているのか理解している、あるいは自他の区別ができていないこと、かえって微笑ましく映る。大学生が自分を「A子」と言うことは、受け止め方が異なる。

だいぶ前になるが、某新聞に「名前へのこだわり」という小文を書いたことがある。自分の名前を手がかりにして、自分の存在の意味を問う時期が青年期であるという内容であった。

自分という存在の象徴が名前であるから、「A子」が自分のことを名前で表現することには、特別な思いが込められているのかもしれない。自分は友達など周りの人から「A子」と呼ばれていて、あなた達からみられているその通りに化粧した(よそおった)「A子」を主張しようとしているのであろうか。自分は「A子」という固有の名前をもつ存在であること(個称)を示そうとする“強い個人主義”の表れであらうか。誇らしい自分を意識している(誇称している)ので

あろうか。あるいは、単なる子どもっぽさ(幼児性)を示しているだけであらうか。

大人も自分を呼ぶときに、「私は」以外の言葉を使っている。相手との関係性にもとづいた「お父(母)さんは」「先生は」などである。

家庭のなかでは、父親(母親)は子どもに向かって自分を「お父(母)さんは」と言っているであろう。子どもが大学生であっても同じである。ひょっとしたら、「私は」と言うときは、特別な場合であるかもしれない。

小中学校では、教師が児童生徒を前にして自分を「先生は」と言うことが多いようだ。高校では、「先生」と「私」が半々か、「私」が多数であらうか。大学では「先生」と言うのをまず聞いたことがない。

「お父(母)さん」「先生」は、「私なるもの」のある一面、すなわち関係性での「私」をことさら強調している。「私なるもの」が隠されたり、あいまいにされることにもなる。

自分のことを自分でどのように言うのか。どのような言い方をしようと、その人はその人であり、私は私であって、その存在が揺らぐものではないだろう。そうではあっても、自分を何と呼ぶかはその時の私を私がどのような視点からみているかに関係していると思う。

「コシヨウ(呼称)の前にはケシヨウ(化粧)やウシヨウ(苦笑)があって、若者や若者との関係を考える手掛かりになる。

次回は、経済学部現代経済学科の加藤秀弥先生です



Campus News

学生の優秀卒論を表彰する制度がスタート!

去る1月21日(金)に「経済学部優秀卒業論文表彰式・発表会」が行われました。会場には4年生はもちろん、3年生ら下級生も多く詰めかけました。

この制度は、大学生活の集大成である卒業研究の成果を公開し学部全体で審査することで、学生たちのやる気を一層引き出すことを目的として、企画されました。第1回目となる今年度は、右記の2名が優秀賞を受賞し、荻田経済学部長より表彰状と副賞が授与されました。

表彰式の後、受賞学生が各自の卒業論文について発表を行いました。発表では論文の内容だけでなく、研究を進める上でのアドバイスも披露され、3年生ら下級生は先輩の言葉に熱心に耳を傾けていました。



経済学部 現代経済学科 4年 有野 愛美さん 「人は合理的に行動するのか?—行動経済学序説—」  
経済学部 現代経済学科 4年 大嶽 雅利くん 「九州新幹線と九州の観光産業について」

第1回の優秀卒業論文に2本選出!!



18人が発表! 経営学部卒論発表会

経営学部でも同じ日に卒論発表会が行われました。経営学部では各ゼミから選ばれた学生18人が二つの教室に分かれ、自分の卒論のテーマについて10分ずつ報告しました。発表会をやるということがぎりぎりになって決まったこともあり、発表には不慣れで不十分どころも多々ありましたが、発表者それぞれの個性が前面に出た面白い発表会になりました。(写真は堀田潤くんの発表の様子)

【経営学部 発表テーマ一覧】  
映画会社に関する経営分析/不動産価格の決定要因について/ミズノの経営分析/ゴルフ界の経営分析/今日の中小企業の経営/プロ野球チームの経営分析/銀行の経営/サービス業のマーケティング/証券市場の動き/モチベーション向上における愛社精神とは/GOOGLEという非営利組織/人事管理とモチベーション/役員報酬と退職金/観光旅館の経営戦略/トヨタリコール問題の原因と解決策—低燃費と安全性確保の両立に失敗/アパレル小売業における対面商法の重要性—正統派ファッションへの誘導/ラウンジ経営における人間成長への視点/自動車産業の経営についての考察

04 研究室訪問

今回は、日本の政治を専門とする高田豊實教授に研究の取り組みについて伺いました



～ 短期大学部 キャリアデザイン学科 高田 豊實 教授 ～

東西冷戦の終焉以来、わが国の近現代史の見直しという問題に関心をもってきました。その中心にあったのは、わが国における政治の営まれ方ということでした。短大と大学の授業でも、現代日本の政治を見るための視点について解説しています。

2010年の9月初旬、比較文化研究会の市民開放講座が開催され、ここでも日ごろの授業の題材を取り上げてお話しする機会がありました。講座では3つのテーマを選びました。1.「議会と選挙」、2.「議会と住民投票」、3.「民主制と独裁制」の3つです。時あたかも、菅氏対小沢氏の、民主党の代表選が展開中で、さらに名古屋の河村市長がしかけた、市議会解散を求める署名運動たけなわの時期でした。

これら3つのテーマで念頭にあったのは、民主制をどう見るかという問題でした。ひとくちに民主制といっても直接民主制と代表民主制(議会民主制)とは意味合いが違います。その点を、政権交代した民主党、そして名古屋の河村市長はどう考えているのか、ここに焦点を合わせてみたかったのです。

民主制とは多数者の支配を意味します。民主制がうまく機能するかどうか、これは何の保証もありません。おろかな多数者はおろかな意思決定をします。わがままな多数者はわがままな意思決定をします。それをいかに回避するか。政治の長の指導力、そして議会の調整力が問われる所以がここにあります。

メイケイのお弁当日和

オリジナル 韓国弁当

お弁当づくりを楽しもう!

人間生活科学部 管理栄養学科 4年 森 郁恵

今回は、みなさんに韓国弁当を紹介します。韓国料理の基礎とされているのは<五味・五色・五法>です。この考え方は、中国の陰陽五行説からきています。五味とは「甘味・苦味・塩味・酸味・辛味」の5つの味覚の事を表し、五色は「白・黄・赤・緑・黒」を言います。そして、五法とは「生・煮る・焼く・揚げる・蒸す」という調理法を指します。

韓国のお弁当には、学校や会社に持っていく日常のお弁当と、遠足などの行事に持っていく行楽用のお弁当があります。今回は日本人にも馴染み深いビビンバを用いて<五味・五色・五法>を生かしたお弁当を作りました。五味は野菜の甘味や苦味、調味料の酸味や塩味、コチュジャンの辛味で、五色は白(もやしや白飯)、黒(ぜんまい)、黄(卵)、赤(ニンジン)、緑(ほうれん草)で表現しました。色にはそれぞれ意味があり、白は清潔、黒は引き締め、黄色と赤は食欲、緑は安心という意味が込められているそうです。また、この五色をそろえることで栄養バランスも良くなると言われてます。五法は「煮る・焼く・炒める・茹でる・炊く」の5つの調理法を用いました。

みなさんもこれからは、調理をする時やいただく時に<五味・五色・五法>を意識してみてください。全てを整えるのが難しい場合は、「五色」だけ整えてもかなりバランスのとれた食事になります。



高大連携事業

# 社会科学入門講座を開催中!

昨年末に大学の正規科目として承認された高大連携科目「社会科学入門」が、2010年12月11日(土)を皮切りにスタートしました。受講後に合格判定が出たものについては、入学後に「2単位」が認められる本講座。普段45分の授業しか経験のない高校生にとっては90分の講義は新鮮で、先生が発するひとつひとつの言葉を一生懸命吸収し、ひと足早い“大学生活”を味わいました。



1 ヒット商品を題材に経済の仕組みについて語る木全先生 2 講座の後は先生・生徒と一緒に和気あいあいと食事  
3 「裁判員制度の入門講座」で熱弁をふるう法学部・萩原先生 4 興味津々の様子で講義に耳を傾ける生徒たち

Check 参加した生徒の声

STUDENTS' VOICE

90分は長くて大変でした。講義の内容はもっと難しいと思っていましたが、先生方がわかりやすく説明してくださるので理解しやすかったです。  
(男子/現代経済学科に入学予定)

興味深い内容が多く、聞いているうちにいつの間にか終わっていました。大学の講義という硬いイメージがありましたが、リラックスして話を聞けました。  
(女子/管理栄養学科に入学予定)

《主な講座内容》

犬山キャンパス

- 12/11 「ヒット商品を考える」  
「モノの値段はどう決まる?」等
- 12/18 「コンビニビジネスで使われるITの仕組み」  
「コンビニビジネスの新たな課題と挑戦」等
- 2/12 「簿記・会計の基礎」  
「財務諸表によるコンビニの分析」等
- 2/19 「企業法入門(株式会社のしくみ)」  
「国際企業法入門(東アジアはおもしろい)」

名駅キャンパス

- 1/29 「法学入門(法律学への誘い)」  
「司法入門(あなたが裁判員になる時代—量刑を決められますか?)」
- 2/ 5 「新聞から経済が見える(1)」  
「新聞から経済が見える(2)」

## 学校法人市邨学園

# 教育研究充実寄附金のお願い

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより、今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、本法人では、100年積み上げて参りました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただけます場合は、前回折り返みの書類によりお手続きいただけますか、若しくは、次の連絡先までご請求いただけますようよろしくお願いいたします。なお、お手続きにつきご不明の点等ありましたら、同じく次の連絡先までご連絡いただけますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、本法人は特定公益増進法人の認定を受けておりますので、一定の条件を満たした場合には、寄附金に対する免税措置を受けることができますことを申し添えます。

連絡先 学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)  
TEL.052-853-0047(代表)

中・高ニュース

～市邨中・高吹奏楽部～

# 新春の栄に響き渡る 吹奏楽の調べ

—第9回定期演奏会を開催—



組曲「ガイイヌ」の「剣の舞」から松田聖子ヒットメドレーまで、多彩なジャンルを披露

中学・高校吹奏楽部の定期演奏会を、新春の8日、栄のナディアパークで開催しました。クラシック・ドリル・ポピュラーの3部構成によるコンサート。部員たちは700余名もの来場者を前に、力を合わせこれまでの練習成果を披露しました。皆様方からの心温まる声援に感謝申し上げます。

本校吹奏楽部は創部41年目を迎え、定期演奏会も既に21回(今回は、男女共学校となって9回目)開催しています。この他にも、アンサンブル・管楽器コンテスト、吹奏楽コンクールやマーチングバンド大会などの各種大会への出場、入学式・体育祭・文化祭・学校説明会などの学校行事での演奏に加え、広小路まつりなどで地域の方々からの依頼で演奏を披露。それらに備えての練習に、中学・高校生が一緒に毎日頑張っています。

～高蔵中・高演劇部～

# 子どもたちのための ミュージカル公演

名古屋経済大学高蔵中高演劇部では、毎年クリスマスシーズンに地域の文化小劇場で無料のミュージカル公演を行っています。



地域の子どもたちにミュージカルの楽しさを感じて欲しいと「子どもたちのための芸術劇場」と題して公演をはじめ、2010年で既に16年目。演目は「オズの魔法使い」「森は生きている」「赤毛のアン」など、ミュージカルの名作。今年は「アニー」を取り上げ、昨年末に、北区・中村区の劇場で計4回の公演を行いました。

作品は、高蔵オリジナルの台本・曲・ダンスで創り上げられます。衣装や装置、メイクも部員たちが自分たちで考え作成。一方で、歌やダンスは地元のプロの指導者のレッスンを基礎から学び、完成度の高い仕上がりを目指しました。生徒たちは1つの作品で複数のキャストやスタッフにつきます。さまざまな役を演じ、裏方の仕事を体験することにより、ひとつの舞台をみんなで作り上げていく楽しさや、苦勞を体験していきます。公演終了後にいただく拍手と感動の涙が、私たち演劇部の大きな力となっていきます。

これからも、お客様に感動や勇気、元気を与えられるような舞台をつくっていきたく思います。ぜひ、一度生の舞台を見に劇場まで足をお運びください。部員一同お待ちしております。

(2010年12月17日の中日新聞に掲載分)